

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1099	(H.24)No.	1099
-----------	------	-----------	------

事務事業名 園芸福祉推進事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	農林資源室	西森平太郎	63-7625
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 15 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	3	園芸福祉の推進
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	302001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	園芸福祉推進事業	
項	農業費	(小事業名)	
目	農林振興費	園芸福祉推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
花や野菜作りなどの園芸作業に携わることで心身ともに癒され、健康で幸福に暮らすことを目指し、ガ - デンシティなばりを創造し、福祉の理想郷の実現。	
園芸福祉市民講座(3回の開催) 園芸福祉講演会・研修会の開催 園芸福祉活動の実践(ボランティア活動支援)等	

めざす効果(事業目的)	
園芸福祉の普及啓発を進め、実践活動を担う人材を育成する。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 名張、桔梗が丘駅周辺花壇維持管理委託料 園芸福祉研修等委託料 340千円	[事業内容(事業量)・事業費] 名張、桔梗が丘駅周辺花壇維持管理委託料 園芸福祉研修等委託料 340千円 旅費 10千円 需用費 10千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			名張、桔梗が丘駅周辺花壇維持管理委託料 340千円 報償費 50千円 旅費 10千円 需用費 10千円	名張、桔梗が丘駅周辺花壇維持管理委託料 340千円 報償費 50千円 旅費 10千円 需用費 10千円	名張、桔梗が丘駅周辺花壇維持管理委託料 340千円 報償費 50千円 旅費 10千円 需用費 10千円
直接事業費	340千円	360千円	410千円	410千円	410千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 340	360	410	410	410
人工数					
職員	0.07人	0.07人	0.06人	0.06人	0.06人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 528千円	528千円	455千円	455千円	455千円
+ 総事業費	(0千円) 868千円	888千円	865千円	865千円	865千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	園芸福祉市民講座受講者数(延べ値)	人	-	-	-	-
	実績			253	332	530	715
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
園芸福祉の普及啓発は従来型の講演会型だけでなく実践・体験型をとりいれながら対象となる層を広げたことにより、一定の成果を得ることができた。また従来からの園芸福祉ボランティア活動は地域に根付いた活動を着実に実施している。	引き続き園芸福祉の普及啓発に努め、実践活動を担う人材を育成する。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
園芸福祉の普及啓発は対象となる層を広げていくことが必要となってきた。従来からの園芸福祉ボランティア活動は市民からの好評を得ているが、実践者の問題が顕在化してきている。	引き続き園芸福祉の普及啓発に努め、実践活動を担う人材を育成するためには継続した支援が必要である。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	生涯現役社会を構築する世代間交流プロジェクト(美旗地区)
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
経常的な経費であり、一定額の確保により事務が円滑に実施できる。

特記事項